

◎ 「ワンポイントレッスン・研修委員会」の構成

役 職	所 属	氏 名	備 考
委 員 長 (座 長)	カーサ・コミュ (株式会社 ソワサポート)	浅 原 奈緒子	
副委員長 (座長代理)	児童発達支援・放課後等デイサービス feel (一般社団法人 こころ相談研修センター)	杉 下 味 香	
構 成 員	明石市立 あおぞら園	山 本 貴 世	
	明石市立 ゆりかご園	山 本 康 典	
部 会 長	明石市立 あおぞら園・きらきら	飯 塚 由美子	こども部会長
副部会長	相談支援事業所 シーム	泉 和 男	こども副部会長
事 務 局	明石市基幹相談支援センター ((社会福祉法人)明石市社会福祉協議会)	松 本 崇	
	明石市基幹相談支援センター ((社会福祉法人)明石市社会福祉協議会)	柴 田 愛	

平成 30 年度（ 2018 年度 ） 「 ワンポイントレッスン 」 の あらまし

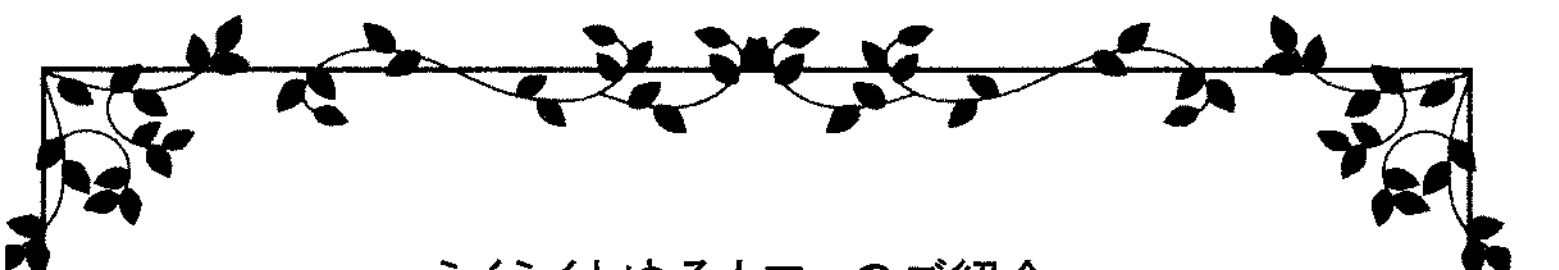
こども部会 ワンポイントレッスン・研修委員会

（ 平成31年(2019年) 3 月 作成 ）

実 施 日	テーマ ・ 研修名	研 修 内 容	講 師 名
5 / 15 (火)	ワンポイントレッスン・ 研修のあらまし		ワンポイントレッスン・ 研修委員会
6 / 19 (火)	子どもたちの 苦手な部分の対応 － 事例紹介 －	事例紹介から学ぶ 子どもたちの苦手な部分の対応	浅 原 奈緒子 氏 (株式会社 ソワサポート 代表)
7 / 10 (火)	思春期とことばかけ	子どもへの関わり ～ 思春期 & ことばかけ ～	杉 下 味 香 氏 (一般社団法人 こころ相談研修センター 児童発達支援・ 放課後等デイサービス f e e l school訪問支援 c o n n e c t 代表理事)
8 月			
9 / 11 (火)	防災研修	あかし出前講座（ 90分 ） 『災害への備えなどを学ぶ 「 防災研修 」』	明石市総務局 総合安全対策室
10 / 16 (火)	保育所等訪問支援事業 における支援について － 2つの事例をとおして －	2つの事例を通して学ぶ 保育所等訪問支援事業	山 本 貴 世 氏 (明石市立 あおぞら園副施設長 保育所等訪問支援事業 児童発達支援管理責任者)
11 / 20 (火)	作業療法士からの視点	「 『 できない 』 の見方 不器用さから考える 」	山 本 康 典 氏 (明石市立 ゆりかご園 主任作業療法士 児童発達支援管理責任者)
12 / 18 (火)	保護者の思いを聴く	『 障がいがあるこどもを 育てるご家族のみなさま の 思 い を 聴 く 』	障害のある 子供の保護者の会 らくらく
<u>1 / 23 (水)</u> (※)	聴覚障害者の立場から	『 聴 覚 障 害 者 の 立 場 か ら 』 ～聴覚障害の理解を 深めるために。 聞こえないことを知る。～	涌 井 由 賀 里 氏 (明石ろうあ協会 会 長)
2 / 19 (火)	言語聴覚士からの視点	『 保育の中での コミュニケーション支援 』	泉 和 男 氏 (相談支援事業所シーム 相談支援専門員・ 言語聴覚士)
3 / 12 (火)	平成30年度(2018年度) の ふりかえり	地域自立支援協議会の 仕組みと機能	ワンポイントレッスン・ 研修委員会

- * 平成31年(2019年)年 1 月は、「聴覚障害者の立場」からのお話です。
- * 保護者の話を聴く機会は、ワンポイントレッスンの後に随時実施します。
- * ワンポイントレッスンの所要時間は、質疑応答含め30分から40分とします。

※ 平成31年(2019年) 1 月は、 1 月23日(水)に開催します。



らくらくとゆるカフェのご紹介

私たち【らくらく】は明石に住んでいる障がいのある子供の保護者のグループです。らくらくでは【ゆるカフェ】という障がい児の保護者のためのイベントを主催しています。

ゆるカフェの参加メンバーも、らくらくメンバーの友達が殆どで少し大きなママ会という感じです。

ゆるカフェでは以下のような活動を2、3か月ごとに開催しています。

《ゆるカフェおしゃべり会》

少人数グループに分かれて、お菓子を食べながらみんなで楽しくおしゃべり。

《ゆるカフェ勉強会・茶話会》

様々なテーマで、講師の方や先輩ママさんをお招きしてお話を聞きます。

みんなで悩みを共有して話をしたり進路や将来のことなどを勉強したり、情報共有・情報交換のできる楽しいイベントになればいいなと思っています。

ゆるカフェでは他人任せにせず自分たち保護者が我が子のためにどんな事をできるか考える事を大切にしています。

もちろん必要な事は行政にも伝えていく所存ではありますが、他人を批判せず建設的な意見交換ができる場となるよう皆さまにご協力頂けたら幸いです。

一人ひとりの声は小さくても、みんなの声で子供たちだけでなく、私たち家族の未来も明るくしていきましょう

(10-2)「啓発・イベントプロジェクト」(＜こども部会＞啓発活動)

～『こども部会 啓発Movie』＋

『10,000人 メッセージプロジェクト』～

Project to Enlighten with 10,000 Messages.

◎＜明石市地域自立支援協議会＞では、「ソーシャル・インクルージョン（社会的包摂）」の理念のもと、『こども部会 啓発Movie』（DVD）をとおして、障がいがあっても、なくても、「すべてのこどもたちがしあわせに暮らすことのできる社会」・「ともに育つ社会」の実現に向けて、10,000人からビデオメッセージを集めることを目標にした、

『10,000人 メッセージプロジェクト』

に取り組んでいます。

『明石市地域自立支援協議会 こども部会 啓発Movie』

～今からでも遅くない。わたしたちにできること。地域で支える、みまもる～



◎ 活動の背景と趣旨

- ・〈こども部会〉では、平成28年（2016年）に、「障がいのあるこどもたちの支援」について、ご本人・ご家族・街（地域）のみなさまへインタビューをおこないました。
- ・そのなかで、①障がいのあるこどもたちが通所する事業所のバス（送迎車）に対して差別発言うけ、やり場のない悲しい感情を抱いたこと、②障がいのあるこどもが公園に近づくと、居合わせたこどもたちが心ない発言とともに逃げていかれてしまい、深く傷ついたこと、③明石市で暮らす医療的ケアを必要とするこども・ご家族への支援が十分ではなく、我慢を強いられている事例が寄せられ、特別な支援を必要とするこどもに対する「偏見」や「差別」があり、我慢させられているという現実を突きつけられました。
- ・そのような現実のなかでも、街のみなさまから、障がいのあるこどもたち・ご家族へ『わたしたちにできること』のビデオメッセージをいただき、勇気づけられ、「インクルーシブ社会（包摂社会）」の実現への可能性をみいだすことができました。
- ・このことについて、〈平成28年度（2016年度） 第1回 明石市地域自立支援協議会（平成28年（2016年）7月20日開催）〉において、報告をおこなったところ、「障がいがあっても、なくても、すべてのこどもたちがしあわせに暮らすことのできる明石・社会（環境）づくりが必要であること」、そのためには、「たゆみのない啓発活動をおこなっていくことが基本となること」をはじめとする多くの意見をいただきました。
- ・このことから、〈こども部会〉では、「障がいのあるこどもに対する偏見やいじめについてのご家族のみなさまの声」を真摯に受けとめ、「街のみなさまへのインタビューによる『わたしたちにできること』をビデオメッセージ」活動を発展的に継続し、これまでに収めたビデオメッセージをまとめ、『こども部会 啓発Movie』（DVD）を製作しました。
- ・『こども部会 啓発Movie』と『10,000人メッセージプロジェクト』は、〈YouTube〉にて視聴をすることができます。（☆ 29ページをご参照ください。）
- ・これからも、みなさまからのビデオメッセージをいただきたく、さまざまな啓発・イベント等とおして、募集しています。
- ・今後、〈明石市地域自立支援協議会・こども部会〉のよびかけによる啓発・イベントを企画・立案していきます。

◎ 活動・開催実績

▼ 平成30（2018）年8月25日（土）・26日（日）

「あかしユニバーサル交流会 + 24時間テレビチャリティイベント」にて啓発

- ・活動場所 あかし市民広場（パピオスあかし 2階）（明石市大明石町1丁目6-1）



・活動内容

- (1) 『10,000人メッセージプロジェクト』
来場されたみなさまより、
ビデオメッセージをいただきました。
- (2) メッセージをいただいたみなさまに、
『こども部会 啓発Movie』
を配布しました。

（10-2-1）『こども部会 啓発 Movie』（DVD）

- <こども部会>では、平成28年（2016年）に、「障がいのあるこどもたちの支援」について、ご本人・ご家族・街（地域）のみなさまへインタビューをおこなったところ、①障がいのあるこどもたちが通所する事業所のバス（送迎車）に対して差別発言うけ、やり場のない悲しい感情を抱いたこと、②障がいのあるこどもが公園に近づくと、居合わせたこどもたちが心ない発言とともに逃げていかれてしまい、深く傷ついたこと、③明石市で暮らす医療的ケアを必要とするこども・ご家族への支援が十分ではなく、我慢を強いられている事例が寄せられ、特別な支援を必要とするこどもに対する「偏見」や「差別」があり、我慢させられているという現実を突きつけられました。
- そのような現実のなかでも、街のみなさまから、障がいのあるこどもたち・ご家族へ『わたしたちにできること』のビデオメッセージをいただき、勇気づけられ、「インクルーシブ社会（包摂社会）」の実現への可能性をみいだすことができました。
- この取り組みを発展的に継続し、これまでに収めたビデオメッセージをまとめ、

『明石市地域自立支援協議会 こども部会 啓発Movie』
～ 今からでも遅くない。わたしたちにできること。地域で支える、みまもる ～

と題して、広く啓発するための映像（DVD）を製作しました。

- 「ソーシャル・インクルージョン（社会的包摂）」の理念のもと、
『こども部会 啓発Movie』（DVD）をとおして、
障がいがあっても、なくても、「すべてのこどもたちがしあわせに暮らすことのできる社会」・
「ともに育つ社会」の実現に向けて、
1万人からビデオメッセージを集めることを目標にした「1万人メッセージプロジェクト」に取り組んでいます。
- これからも、みなさまからのビデオメッセージをいただきたく、さまざまな啓発・イベント等をとおして、募集しています。



(10-2-2)『10,000人 メッセージプロジェクト』
Project to Enlighten with 10,000 Messages.

- < 明石市地域自立支援協議会 > では、
「ソーシャル・インクルージョン（社会的包摂）」の理念のもと、
障がい が あっても なくても、
「すべての こどもたちが しあわせ に 暮らす こと の できる社会」・
「ともに育つ社会」の実現に向けて、
1万人 を 目標 に、啓発メッセージ を 募集しています。
- 障がい が あっても なくても、
「誰もがしあわせに暮らすことのできる社会」へのメッセージをいただける方であれば、
明石に住んでいても、住んでいなくても、どなたでも参加OKです！！

しゃかい

- みんなの力で明日の「明石」をつくりましょう！

▼ メッセージの参加はこちら

明石市基幹相談支援センター（明石市地域自立支援協議会 運営会議・専門部会 事務局）
〒673-0037
兵庫県明石市貴崎1丁目5-13 明石市立総合福祉センター内
電 話：078-924-9155
ファクシミリ：078-924-9134



※ お願い ※

みなさまよりいただいたメッセージは、
広く啓発するために映像（DVDなど）となります。
映像は、多数か所において多数回数の放送（有線・無線）
（ネットワーク等を通じての放送をできる状態を含む）、
上映、公開、配布させていただきますので、
ご了承をお願いいたします。



『 こども部会 啓発Movie 』と
『 10,000人メッセージプロジェクト 』は、
〈 YouTube 〉にて配信しています ☆彡

- YouTube（ホームページ）アドレス（URL）
（その1）<https://www.youtube.com/watch?v=DvBHxlvS2fl>
（その2）<https://www.youtube.com/watch?v=2t7Zw4AjbCQ>
（その3）<https://www.youtube.com/watch?v=PVWa-XOZal4>

「 YouTube 明石 メッセージプロジェクト 」のキーワードにて、
ウェブ検索をすることができます。



▲ その1



▲ その2



▲ その3

（10－3）「 児童短期入所ワーキンググループ 」

◎ 活動の背景と趣旨

- ・〈こども部会〉の中核ワーキンググループである、〈児童通所サービス等事業所連絡会〉にて、
 - ① 「 発達支援の現場の中で、児童の短期入所の相談をよく受けるが、実際に受け入れることができる社会資源が不足しており、対応に苦慮し、地域の課題と感じているところ 」 。
 - ② 「 今後、児童の短期入所事業を考えたい 」 。等 のご意見がありました。
- ・ ① 明石市内外の状態を把握すること、 ② 設備・基準面の知識を深めることを通して、こどもの短期入所のあり方を議論しています。
- ・ 平成27年度（2015年度）より、「こどもの短期入所に関するアンケート調査」を企画しているところですが、設問設計の不備、関係団体・機関との調整の不調等の理由により、引き続き、凍結状態となっています。
- ・ 平成31年度（2019年度）は、「明石市第5次障害者計画」並びに「明石市障害福祉計画（第5期）」及び「明石市障害児福祉計画（第1期）」における基本目標並びに計画の基本方向及び重点施策等を踏まえ、「こども部会本会議」及び「児童通所サービス等事業所連絡会」における議論をとおして、活動の方向性を見直します。

（10－4）「 実践・事例研究チーム 」

◎ 活動の背景と趣旨

- ・ 〈 本会議 〉、〈 児童通所サービス等事業所連絡会 〉 等にてあがった具体的な先行・成功事例・実践事例や課題について、適宜、必要なメンバーを招集し、議論します。
- ・ 平成31年度（2019年度）は、「明石市第5次障害者計画」並びに「明石市障害福祉計画（第5期）」及び「明石市障害児福祉計画（第1期）」における基本目標並びに計画の基本方向及び重点施策等を踏まえ、「こども部会本会議」及び「ワンポイントレッスン・研修委員会」における議論をとおして、活動の方向性を見直します。

（10－5）「 先進地等視察・交流チーム 」

◎ 活動の背景と趣旨

- ・ 〈本会議〉、〈児童通所サービス等事業所連絡会〉等にてメンバーを募り、他都市の地域自立支援協議会・こども部会の取り組みを学ぶため視察を行うことや、〈児童通所サービス等事業所連絡会〉等のワーキンググループに招き、交流をはかります。
- ・ 特に、「医療的ケアを必要とする障がいのあるこどもの支援」についての先行・成功事例・実践を学ぶため、先進地等への視察を企画していきます。
- ・ 平成31年度（2019年度）は、「明石市第5次障害者計画」並びに「明石市障害福祉計画（第5期）」及び「明石市障害児福祉計画（第1期）」における基本目標並びに計画の基本方向及び重点施策等を踏まえ、「こども部会本会議」並びに「ワンポイントレッスン・研修委員会」及び「児童通所サービス等事業所連絡会」における議論をとおして、活動を幅を広げていきます。

11. 「明石市医療的ケア児支援連絡会」への出席

◎ 活動の背景と趣旨

- ・「明石市障害児福祉計画（第1期）」（平成30年（2018年）3月策定）の策定にあたって、明石市による団体ヒアリングにおいて、①民間の事業所では、医療的ケア児の受け入れ可能なサービス・ショートステイが市内にない。②学校によっては、医療的ケア以外でも親の付添いが求められる場合がある。③普通学校への訪問看護師派遣が進んでいない。こと等の意見がありました。
- ・このことから、明石市は、平成30年度（2018年度）に、「明石市医療的ケア児支援連絡会」を設置しました。
- ・〈こども部会〉は、その構成団体として委員を選出しています。
- ・今後も、〈こども部会〉の重点活動として取り組んでいきます。

◎ 選 出 委 員

役 職	所 属	氏 名
副部会長	相談支援事業所 シーム （（特定非営利活動法人）こども発達サポートセンター）	泉 和 男

◎ 参加・活動実績

▼ 第1回 明石市医療的ケア児支援連絡会

平成30年（2018年）10月29日（月）13時00分～15時00分

明石市役所議会棟 第3委員会室

○ 開 会

1 あいさつ（野村局長）

2 協議事項

（1）関係機関の連携による医療的ケア児の実態把握の取り組み

（2）アンケート調査の調査実施概要（案）

アンケート調査票（案）

（3）連絡会の運営について（意見交換）

○ 閉 会

12. 「 保育所長会 」 への出席

◎ 活動の背景と趣旨

- 平成29年（2017年）8月より、こども部会長が「保育所長会」に定期出席し、障がいのあるこども・ご家族への支援、保育所等訪問支援事業等について意見交換をおこなっています。
- 今後、さらに、この取り組みを広げていくべく、「幼稚園長会」等へも出席していきたいと考えています。

◎ 選 出 委 員

役 職	所 属	氏 名
部 会 長	明石市立 あおぞら園 ・ きらきら （（社会福祉法人）三田谷治療教育院 ）	飯 塚 由美子

(白 紙)

巻 末 資 料

令和元年 (2019 年) 年 8 月
明石市地域自立支援協議会 ども部会

平成 30 年度（ 2018 年度 ） 「 ワンポイントレッスン 」 の あらまし

こども部会 ワンポイントレッスン・研修委員会

（ 平成31年(2019年) 3 月 作成 ）

実 施 日	テーマ ・ 研修名	研 修 内 容	講 師 名
5 / 15 (火)	ワンポイントレッスン・ 研修のあらまし		ワンポイントレッスン・ 研修委員会
6 / 19 (火)	子どもたちの 苦手な部分の対応 － 事例紹介 －	事例紹介から学ぶ 子どもたちの苦手な部分の対応	浅 原 奈緒子 氏 (株式会社 ソワサポート 代表)
7 / 10 (火)	思春期とことばかけ	子どもへの関わり ～ 思春期 & ことばかけ ～	杉 下 味 香 氏 (一般社団法人 こころ相談研修センター 児童発達支援・ 放課後等デイサービス f e e l 学校訪問支援 c o n n e c t 代表理事)
8 月			
9 / 11 (火)	防災研修	あかし出前講座（ 90分 ） 『災害への備えなどを学ぶ 「 防災研修 」』	明石市総務局 総合安全対策室
10 / 16 (火)	保育所等訪問支援事業 における支援について － 2つの事例をとおして －	2つの事例を通して学ぶ 保育所等訪問支援事業	山 本 貴 世 氏 (明石市立 あおぞら園副施設長 保育所等訪問支援事業 児童発達支援管理責任者)
11 / 20 (火)	作業療法士からの視点	「 『 できない 』 の見方 不器用さから考える 」	山 本 康 典 氏 (明石市立 ゆりかご園 主任作業療法士 児童発達支援管理責任者)
12 / 18 (火)	保護者の思いを聴く	『 障がいがあるこどもを 育てるご家族のみなさま の 思 い を 聴 く 』	障害のある 子供の保護者の会 らくらく
<u>1 / 23 (水)</u> (※)	聴覚障害者の立場から	『 聴 覚 障 害 者 の 立 場 か ら 』 ～聴覚障害の理解を 深めるために。 聞こえないことを知る。～	涌 井 由 賀 里 氏 (明石ろうあ協会 会 長)
2 / 19 (火)	言語聴覚士からの視点	『 保育の中での コミュニケーション支援 』	泉 和 男 氏 (相談支援事業所シーム 相談支援専門員・ 言語聴覚士)
3 / 12 (火)	平成30年度(2018年度) の ふりかえり	地域自立支援協議会の 仕組みと機能	ワンポイントレッスン・ 研修委員会

- * 平成31年(2019年)年 1 月は、「聴覚障害者の立場」からのお話です。
- * 保護者の話を聴く機会は、ワンポイントレッスンの後に随時実施します。
- * ワンポイントレッスンの所要時間は、質疑応答含め30分から40分とします。

※ 平成31年(2019年) 1 月は、 1 月23日(水)に開催します。

平成30年度 明石市地域自立支援協議会

こども部会 リポート Vol.10 平成31(2019)年3月11日

発行元：明石市地域自立支援協議会 こども部会 事務局（明石市基幹相談支援センター）

住 所：明石市貴崎1丁目5番13号（明石市立総合福祉センター 1階）
電話番号：078-924-9155 ファクシミリ：078-924-9134

【 意見投稿用アドレス 】 akashi_jiritsushien@yahoo.co.jp

会員専用のメールアドレスをご用意していますので、皆様からの情報提供やご意見をお待ちしています。

こども部会長の飯塚です。いつもご協力をいただき感謝しております。

さて、こども部会は平成26年度から始動し、まもなく6年目を迎えようとしています。

この間にたくさんの事業所が開所され、児童通所サービス等事業所連絡会をはじめとするワーキング活動にも参加していただき、おかげさまで活気づいています。

これからも、顔の見える関係をとおして、さらなる協力体制の強化につなげ、こどもたちの支援に活かしていきたいと思っています。

また、いろいろな障がいのあるこどもたちの暮らしについて理解し、すべてのこどもたちが暮らしやすい明石になることを願っています。もちろん「10,000人メッセージプロジェクト」を通じて、地域の方の理解が深まることも大きなねらいです。

みなさまと一緒に素晴らしい明石を創っていきましょう。これからもよろしくお願いいたします。



こども部会 部会長
飯 塚 由美子
（明石市立
あおぞら園・きらきら 施設長）

「10,000人メッセージプロジェクト」 Project to Enlighten with 10,000 Messages. ～ 今からでも遅くない。わたしたちにできること ～

▼ 明石市地域自立支援協議会では、「ソーシャル・インクルージョン（社会的包摂）」の理念のもと、障がいがあってもなくても、「誰もが しあわせ に 暮らすことのできる社会」・「ともに育つ社会」の実現に向けて、10,000人を目標に、「ビデオ（映像）メッセージ」を募集しています。

▼ 障がいがあってもなくても、「誰もが しあわせ に 暮らすことのできる社会」へのメッセージをいただける方であれば、明石に住んでいても、住んでいなくても、どなたでも参加OKです。



しゃかい

◎ みんなの力で明日の「明 石」をつくりましょう！

YouTube
配信中！！

▼ メッセージの参加はこちら

明石市基幹相談支援センター（明石市地域自立支援協議会 運営会議 事務局）
〒673-0037 明石市貴崎1丁目5-13 明石市立総合福祉センター内
電話：078-924-9155 ファクシミリ：078-924-9134



明石市地域自立支援協議会



▲ 平成30年度の構成

「地域自立支援協議会」は、障害者総合支援法に基づき、障がいのある人が暮らしやすい地域づくりを目標にして、障がい者・児福祉に関わる関係者があつまり協議をおこなう場です。

「明石市地域自立支援協議会」は、平成22年2月に発足し、活動してきました。

障がいのある人のさまざまなニーズに対応していくためには、保健・医療・福祉・教育・就労等の多くの分野・多職種により、多様な支援が連携して、一体的かつ継続的におこなわなければなりません。

障がいがあっても、なくても、誰もがしあわせに暮らすことのできる「明石（しゃかい）」となるために、明石市地域自立支援協議会・専門部会（くらし部会・しごと部会・こども部会）は、知恵を出し合い、しっかりと考え、発信を続けていきます。

みんなで 明日の「明石（しゃかい）」をつくりましょう！！

▼ 「明石市地域自立支援協議会 の ホームページ 」を開設しています！

▼ URL <http://www.akashi-jiritsushien.jp/>

「明石 自立支援協議会」のキーワードにて、ウェブ検索をすることができます。



▲ 明石市地域自立支援協議会HP

【 お問い合わせ先 】

明石市基幹相談支援センター 兼 障害者虐待防止センター
 （明石市地域自立支援協議会 運営会議・専門部会 事務局）
 （社会福祉法人 明石市社会福祉協議会）
 明石市貴崎1丁目5番13号（〒673-0037）
 （明石市立総合福祉センター内）
 電話 078-924-9155 / ファクシミリ 078-924-9134

◎ く 明石市基幹相談支援センター 兼 障害者虐待防止センター > は、平成24年10月1日から明石市より委託を受けた相談支援機関です。運営は、く 社会福祉法人 明石市社会福祉協議会 > がおこなっています。

◎ 「くらし部会」・「しごと部会」・「こども部会」の専門部会活動 や「運営会議」は、明石市より、く 社会福祉法人 明石市社会福祉協議会（明石市基幹相談支援センター）> が委託を受け、事務局として企画・運営をすすめています。